

子ども達の感想文をご紹介します

NPO法人「子どもに音楽を」は、2006年の設立以来、小学校・中学校の音楽室等で演奏会を開催し、子ども達にクラシック音楽を届けてきました。感性あふれる感想文をご紹介します。

音楽っていいな 音楽が好きになりました (小学生)

■心に残る弦楽コンサートになりました。きっといっぱい練習してあんなに上手にひけるんだなと思いました。学んだことがあります。それはがんばって練習すれば上手になるということです。見習ってどんなことも一生けんめいがんばりたいです。(小学4年生)

■「きれいな音だったね」みんなが口々に言い合っていた。何度も寝そうになりながら聴いていた。すごくなだらかな曲だったから。チェロの音がひびいている中でピアノがきれいな音色をだしている。そんな中、うとうとしないで行くのは大変つらい。チェロとピアノの音だけが聞こえたんだ。すごかった。2人は3才から習っていたそうだ。私も一生をかけてがんばってみようかな。(小学4年生)



■素敵なコンサートをありがとうございました。ヴァイオリンもピアノもとても素敵な音色でした。曲を弾かれている時に音からも顔からも感情があふれ出ていました。ヴァイオリンは、ものすごく心にひびいて、生演奏は、初めて見ました。体を上下や左右に動かしながら弾いている曲の表現がものすごく表れていました。ピアノは、頭を揺らしながら、力強く弾いていてカッコよかったです。あんだけ曲を弾いて「指は痛くならないのかな」と思いました。曲の歴史や最後には、歌と音楽の合唱までしていただき、ありがとうございました。(小学5年生)



■今でも、あの音楽が聞こえてくるようです。とても近くで演奏してもらい、こんな近くだと、こんなに伝わってくるんだ！と、いろいろ思いました。ピアノは、とても速いリズムでよく指がついていくな～と思いました。ヴァイオリンは、表情もよくて音楽の内容が目に見えてくるかのようなでした。ヴァイオリンもピアノ（本格的なもの）も初めて聴きました。初めてだったし、音感もない私がきれいと感じるなんて本当にキレイなんだなと思いました。

(小学5年生)

■質問コーナーで、今まで知らなかったことが、よく分かったので、とても楽しかった。勉強になりました。実は、あまり音楽は、得意じゃなくて、あまり好きじゃなかったけど、今回のコンサートが楽しくて、音楽っていいな、と思えたし、音楽が好きになりました。(小学5年生)

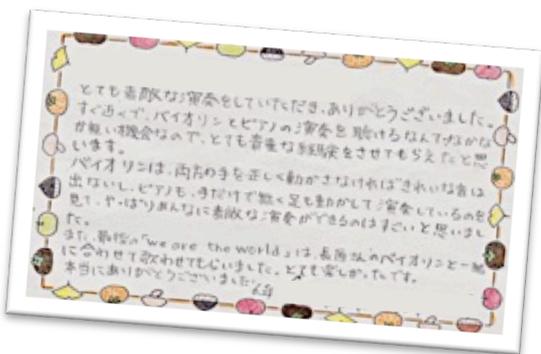
■「幻想即興曲」は、特に速くて、迫力があって強弱がありました。これを聴いていると、最強の力の男が激しく戦っているような情景が頭に浮かんできました。ヴァイオリンは、とても響いて音楽室全体を囲んだような感じでした。また、「シャコンヌ」は、壊滅状態の地に光が降り注ぐような、とても希望がわいてくる曲です。どの曲もとてもカッコいい音楽でした。(小学5年生)

■僕は、ヴァイオリンとピアノが楽器の中で大好きで、この訪問ミニコンサートをずっと楽しみにしていました。生で聴いてみるととてもきれいな音色で、とても素敵でした。特に、弾いてくださった曲の中で一番感動した曲は、やっぱりシャコンヌという曲です。とても、悲しい曲で聴いていると泣いてしまいそうでした。目をつぶって聴いていると場所や物語が浮かんできて、その人の表情なども浮かんできました。(小学5年生)



■はじめてきいたヴァイオリンでは、第一楽章と第三楽章は速いテンポで、第二楽章はゆっくりという感じが伝わってきました。速さだけでなく音の高さや強弱が変わっているのも感じられました。ピアノはとても速くたくさんの音を正確にひいてすごいと思いました。自分でリズムを取ってタイミングをヴァイオリンと合わせるの難しいと思うのに、それが出来ていて尊敬しました。この機会に音楽に興味を持つたと思います。(小学6年生)

■今日は、ありがとうございました。授業などでヴァイオリンとピアノの演奏を(CDで)聴くことはありましたが、生で聴くのは、また違った迫力がありました。私はピアノを習っているので、とても参考になりました。(小学6年生)



■素晴らしい演奏をしてくれてありがとうございました。とても迫力があって、2人の奏でる一つ一つの音からできている世界観がとても繊細で、カッコイイと思いました。特に私が印象に残っているのは、もちろん音色もですが、2人の表現の仕方がとても良かったです。悲しい曲調になると切ない表情をしたり、優しい曲調になると優しい表情になったり、とても表現豊かで素晴らしかったです。みんなで歌った Smalle Agein では、ピアノとヴァイオリンのキレイな音に私たちの声が合わさり、とても最高でした。(小学6年生)

演奏家2人の世界が広がって自分たちを飲み込んだ（中学生）

- ピアノの低音からヴァイオリンの高音まで音が紡がれていく様子が素晴らしいと思った。自然と音が紡がれていく様子は聴いているこちらを引き込むようでした。感情をこめて演奏しているうちに演奏家2人の世界が広がって自分たちを飲み込んだ。互いの音が支えあい引きつけあい奮い立たせているようでした。（中学生）
- 生演奏だからこそ味わえる迫力がすごかった。ピアノとヴァイオリンの音が溶け合ってとても気持ち良かった。複雑なからみも2人の息が合っていてとても美しかった。（中学生）
- ヴァイオリンとピアノの美しい音色が合わさって感動的で心を動かされた。これほど人の心を動かせるのはヴァイオリンの突き刺さるようなまっすぐな音とピアノの流れるような音が合わさったからであり、演奏家も体を目いっぱい使い体全体で音を表現しているからだと感じた。これほどの表現力を身につけるにはいっぱい練習したと思うし、私たちも自分が熱中できるものを見つけることが自分の力を高めていけるのではないかと思います。（中学生）
- 2人の演奏に音楽や楽器への「愛」を感じた。ヴァイオリンの演奏は途中体を前に踏み出したり伸びたりと弦の振動のみならず体からもメロディーが聴こえてきたからです。ピアノの演奏で印象に残ったのは「息遣い」です。息継ぎを必要としないピアノを弾いているにも拘らずメロディーの節目に息継ぎをされていました。私もこれからリコーダーを吹くとき楽器と気持ちが一つになれるよう愛を持つことを意識したい。（中学生）
- 少し音楽に対する楽しみ方が変わった。音楽は人の心を動かすことのできる「すごい力がある」と思った。（中学生）
- 音楽は耳で聞くより体で聴いた方が絶対に楽しいなと思った。（中学生）



子ども達の感想文をご紹介します。（一部抜粋）

学校の感想をご紹介します

高い技術と感性で奏でられた音楽

- 
- NPO法人「子どもに音楽を」のポリシーである《子どもたちがよく知っている曲ばかりを選ばない 高い技術と感性で奏でられる音楽には必ず感動がある》のもとで考えられたプログラムだと思います。演奏を聴く子どもたちの姿を見て、それを実感した演奏会でした。
 - 弦楽コンサートを開催していただきありがとうございました。弦楽器に興味を深める子や「もっとピアノの練習を頑張ろう。」と決意を新たにする子など、子供たちにとってとても良い機会となりました。
 - 大変素晴らしい演奏をありがとうございました。授業が終わった後も子ども達から「とても美しい音色だった」「もう一度聴きたい」との声が多く聞こえてきました。来年度もお願いいたします。

演奏家の感想をご紹介します

子ども達から『気』をもらいました

- 
- この活動はいま最も大切なものです。子ども達から《気》を貰い、それが演奏をバージョンアップさせる力になるという稀有な経験をする事ができました。
 - ソナタなど大きな作品を演奏しましたが、とても集中して聴いてもらえました。プログラムに質問コーナーや、子ども達のコーラスのプレゼントが入り《演奏を聴かせる》だけでなく、音楽を通じて相互の関係が築けることは深い学びにつながると思います。
 - 子ども達の間近で音楽を共有する貴重な機会を頂きました。ピアノの私は弾きながら子ども達の集中した輝く目を見ていました。6年生は反応をコントロールしているようでしたが、演奏をじっと見つめる様子が印象的でした。一人でも多くの子ども達がこのような体験ができますことを心より願っています。